



理想の遊び部屋を 作るとしたら、 どんな部屋がいい？

香川県立高松養護学校 佐野将大



Mくん

- 中学1年の男子生徒
- 肢体不自由障害・重度知的障害
- 主に車いすで生活している

入学当初の実態把握

- 手はよく口に入っているが、物をつかむ・持ち上げるはできない
- 遊ぶように声を出すか、人を呼ぶことはできない
- 首は座っていて、腕もしっかりして、長座で座れる
- 援助があれば立つこともできる
- 意図的にものに接近したり

要求を伝えたりすることはない

意図的に物をつかむ、接近する、が見られない生徒
→何に興味をもっているかを想像するのに
教師側の工夫が必要かもしれない



特徴的な姿勢

- 体を前後に揺らして過ごす
- 寝る姿勢から座る姿勢へと
姿勢変換ができる
- ある程度
動きの自由度が確保できる

彼のことをもっと知るための観察計画の立案

観察の場所 個別スペース

観察の時間 昼休み、個別自立活動（1/W）

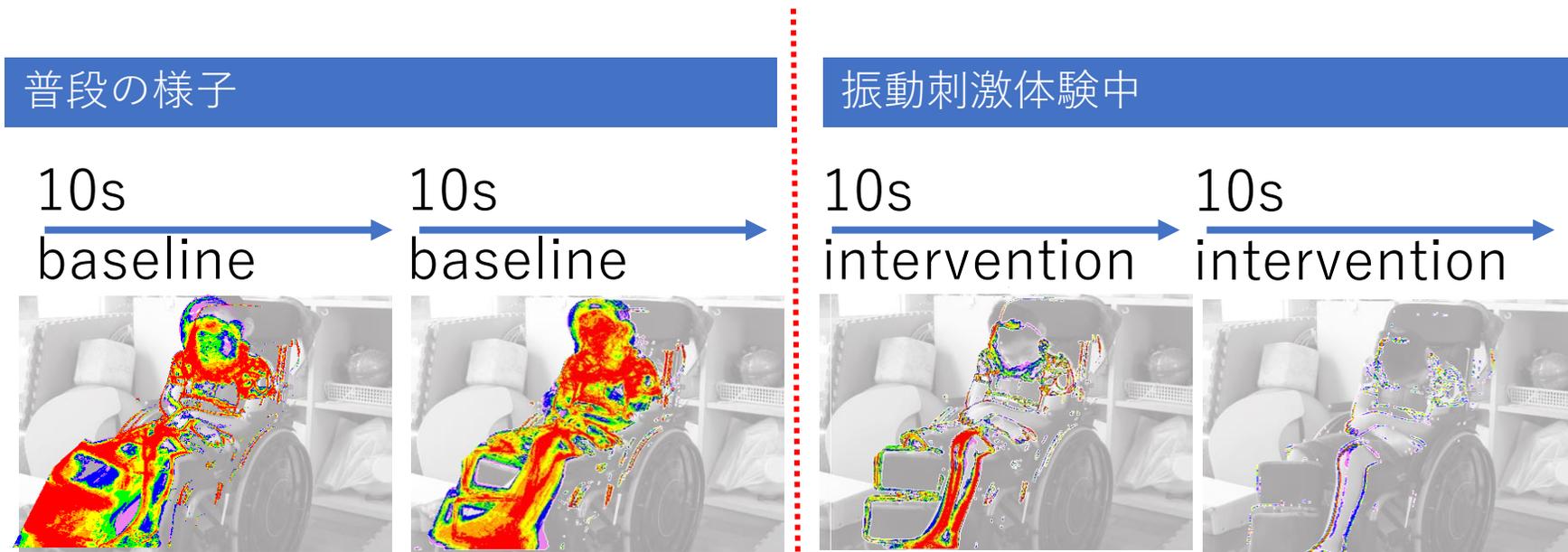
観察の目標 どのように外界を感じ取っていて、
どのように外界と付き合っているのか？

観察の方法 ビデオ撮影（タイムラプス + iOAK）



iOAK

- 動きの量を可視化することができるアプリ



動きが少なくなる、という
表現をすることもあるんだ！という発見

Do-it School OAKの実践より



タイムラプス

- 標準のカメラアプリの機能の一つ
- 動画撮影方法の一つ

- 早送りしたような動画を撮影することができる

- 30分以上撮影しても、自動的に約30秒の動画となる
(iPhoneの機能説明より)



タイムラプス機能を使う理由

- 毎日30分程度観察したい
- 興味深い姿勢と前後の揺れの動きを見ていけば
- その動きにどのような特徴があるか、
- そして、どのようにMくんが外界と付き合っているか
大まかに見当がついてくるのでは？
- 30分の動画が毎日溜まる → 30秒の動画に変わる
日常の観察効率を高めることにもなるのでは？



こんな計画を立てました

- タイムラプスとiOAKのいいとこどり観察

タイムラプス

iOAK

毎日30分の動画を撮影

直後に確認、すぐ共有

早回しならでの気づき

気づきを集め、仮説を立てる

仮説の確認

保管できる資料の作成





結果（タイムラプス＋その場での気づき）

- たくさん気づきを得られた
- 同僚の先生も驚いたり、興味をもってくれたりした

気づき 1 目視の印象よりも、たくさん動いている！

気づき 2 手で、いろいろと触っている！

気づき 3 もしかしたら、お尻とか足の裏でも！？確認している？

探索しているような姿、移動している姿…

いろいろなことを想像したくなる姿を捉えられた

目視の印象よりも動いている？



5/11

当日に動画再生
させていただきます

目視による印象(30秒ぐらい)

5/13

当日に動画再生
させていただきます

タイムラプスによる早回し動画
(30分弱の活動の様子)

手でいろいろと触っている？



5/13

当日に動画再生
させていただきます

5/26

当日に動画再生
させていただきます

さっきみたタイムラプス
今度は右手の動きをみてください

やっぱり触っているのかな…

もしかして、お尻や足裏も重要？



5/20

当日に動画再生
させていただきます

お尻でタオルを確認したの？
足の裏で段差を確認しているの？

5/20

当日に動画再生
させていただきます

お尻下に新しい感触の座布団…
いろんな動きが減少している？

結果（日常のかかわり＋その場での気づき）

- 日常のかかわりのなかで、目はあまり使っていないのかな

- スプーンをゆっくり近づけると気づきにくい

- スプーンの動きを見せると口が開く

- 口元に提示されたスプーンを、唇で探しに行く動きが上手に



結果（気づき → iOAKへ）

- 日常のかかわりで気が付いたこと

？ 聴覚を使って外界を把握しているのかな

？ 視覚はそんなに得意ではないのかな

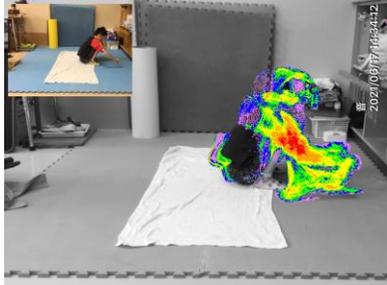
？ 体性感覚も使っているのかな？

→ 自立活動の時間を使ってiOAKを用いたアセスメント

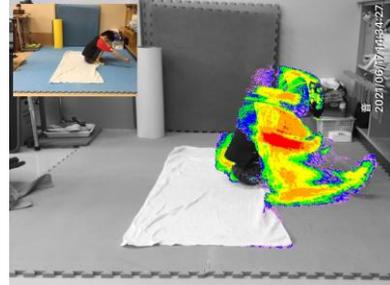
結果（聴覚を使って把握しているのかな）

普段の様子

15s
baseline



15s
baseline



クラシック音楽再生中

15s
intervention



15s
intervention

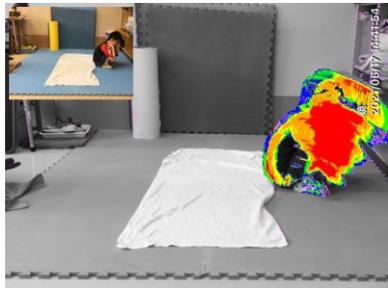


聴覚刺激に対して
体の動きが少なくなるということがある！

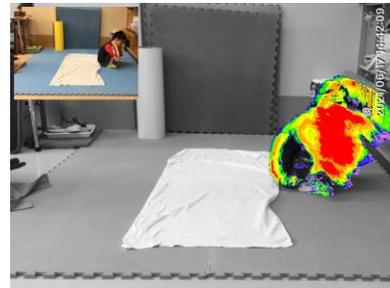
結果（視覚はそんなに得意ではないのかな）

普段の様子

15s
baseline

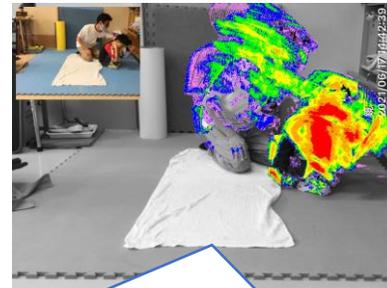


15s
baseline

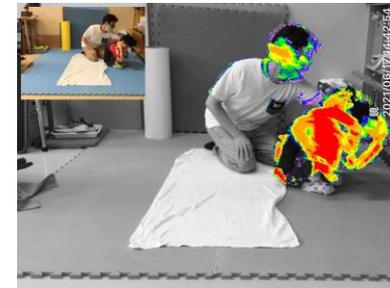


鏡を目の前に提示中

15s
intervention



15s
intervention



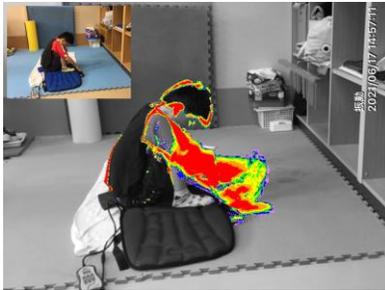
変化が見られない
教師への反応 > 鏡の刺激かも
少なくとも鏡に見入る姿は見られない



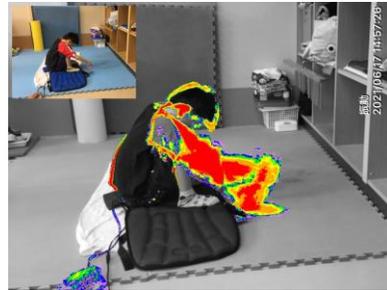
結果（体性感覚も使っているのかな？）

振動マットを足元に置く

15s
baseline

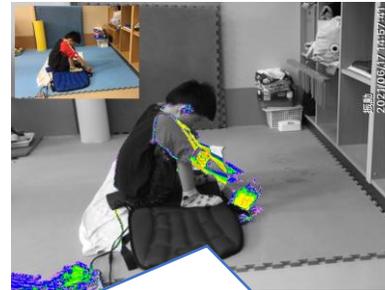


15s
baseline



振動マットの電源を入れる

15s
intervention



15s
intervention



振動刺激に対して
動きが少なくなっている
始めの手の動きは??探っている?

ちょっと考えてみました

- タイムラプス、日常観察、iOAKの結果が集まってきた

右手で床面を
確認している
ような動き



お尻や足裏も
もしかしたら？



視覚がうまく使え
てないことと
関連があるかも



もし、視覚がうまく使えていたら、
もっと探索して、周りのことを捉えて、
もっと動けていたのかもしれない

自分なりの捉え

もし、視覚がうまく使えていたら、
もっと探索して、周りのことを捉えて、
もっと動けていたのかもしれない

周りにいろいろな感触のもの、いろいろな仕掛けがあれば
本人が意図的に外界を探索し、時には本人の思いに従って
その刺激を取りに行くことができるかもしれない
そのような姿になることを応援できるかもしれない

本を読んでみることにしました

- ・ 観察事実と自分なりの捉えだけでは何か不足感…
- ・ 観察事実をつなぎ合わせ
- ・ 抜けている視点を埋め
- ・ つながりがうまく説明できる理屈はないか

発達の本、知覚・認知の本、脳機能についての本など

感覚運動期の発達(ピアジェ)

- ・ 反射の時期
- ・ 自分の体を確かめる時期
- ・ 周りの物を確かめる時期
- ・ 物と物の組み合わせを確かめる時期
- ・ 因果関係を確かめる時期
- ・ 今ここにないものをイメージする時期

物をつかむ、ということには身体的制限があるようだが、彼はこの時期かな？

ピアジェの説明と目の前にある素材

何度も同じようなことを繰り返すような行動は (右手で素材を触るような行動は)
たまたま何かに触れたことによって開始され (足元の素材かな)
その行動そのものによって活動水準が高まる
(触ることそのものが次の触る活動を引き出す)

そしてその行動が同じような刺激をもつ多様な対象に対して
生じるようになり (様々な床面の素材を触るようになるのかな)

時に生理的欲求などに応じて他の刺激とはっきり区別する場面が
見られるようになる (足元の素材に対して区別する場面が見られるようになるのかな)

捉えの調整

Mくんの動きの引き出され方

視覚情報が
きっかけ

聴覚情報が
きっかけ

たまたま当たった
右手や足裏の感触
がきっかけ

手で触る
足裏で確認する
お尻で確認する

環境の作り方とMくんの変容の予測

確認できる時間
と経験を確保

自分で取り
に行ける
環境作り

似ている新しい
素材を提供

出会いを
仕込む

思いと一致する
場面に出会えたら

これこれ！

今は違う！

実践の組み立て直し

Mくん、理想の遊び部屋を作るとしたら、どんな部屋がいい？

- ・ 壁紙や天井、おもちゃも大切だけれど、彼にとっては床が優先？
- ・ しっかりと手を伸ばし、足裏も使って確認できる部屋。
- ・ いろんな感触と出会える部屋。ワクワク感があるような部屋。

マットの部屋？ 畳の部屋？ ふかふかの部屋？ ひやひやの部屋？
ぬくぬくの部屋？ ちょっとドキドキの部屋？

→これこれ！今はちょっと違うな…の心の声が聞こえてきそうな部屋

概ね
こんな環境を
提示しました

ふかふかマット

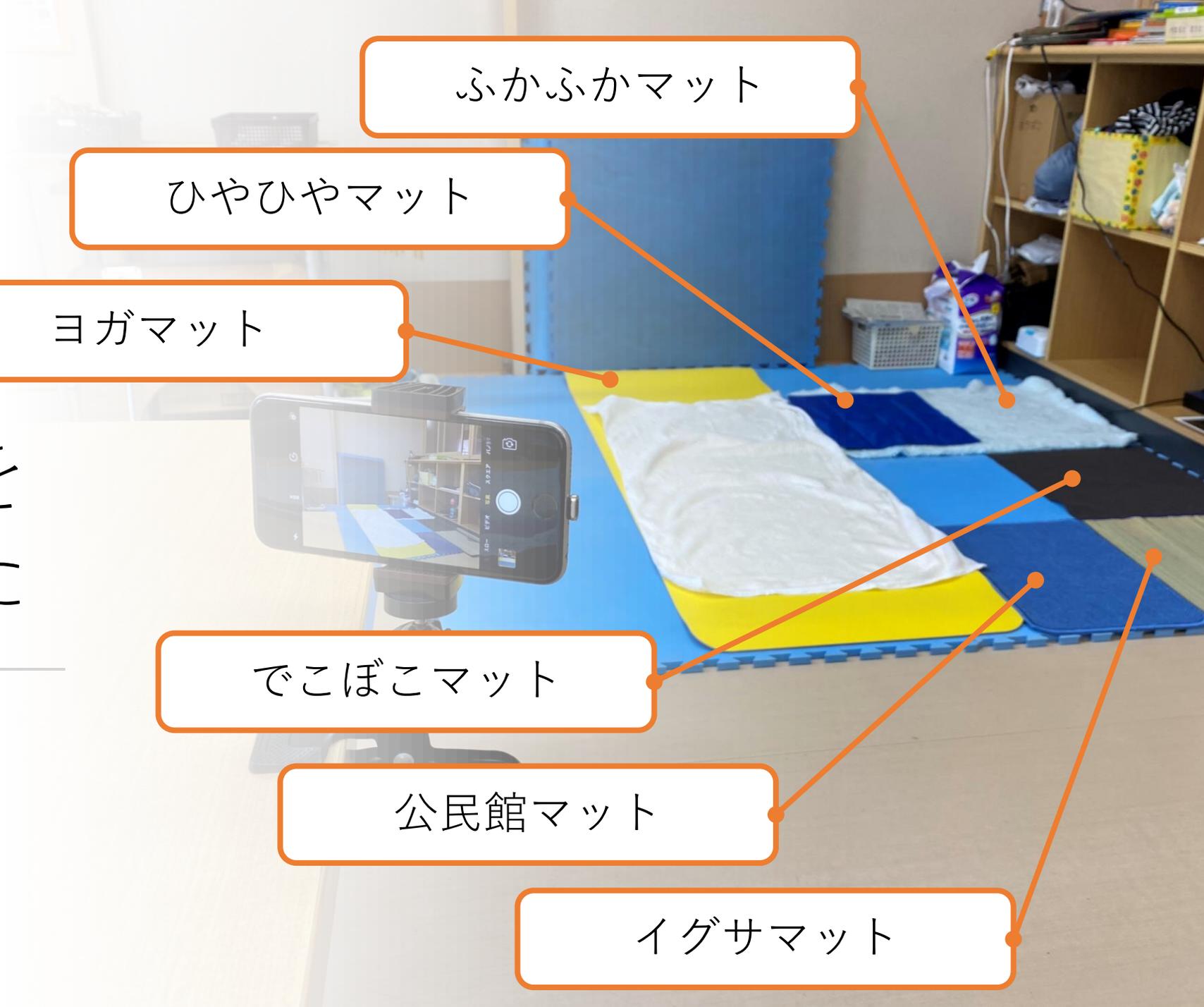
ひやひやマット

ヨガマット

でこぼこマット

公民館マット

イグサマット



実践の結果

- 変化が見えてきているのではないかな…と感じています

? ぼんやりとしていた左手に変化?

? 足裏で遊ぶというのもアリ?

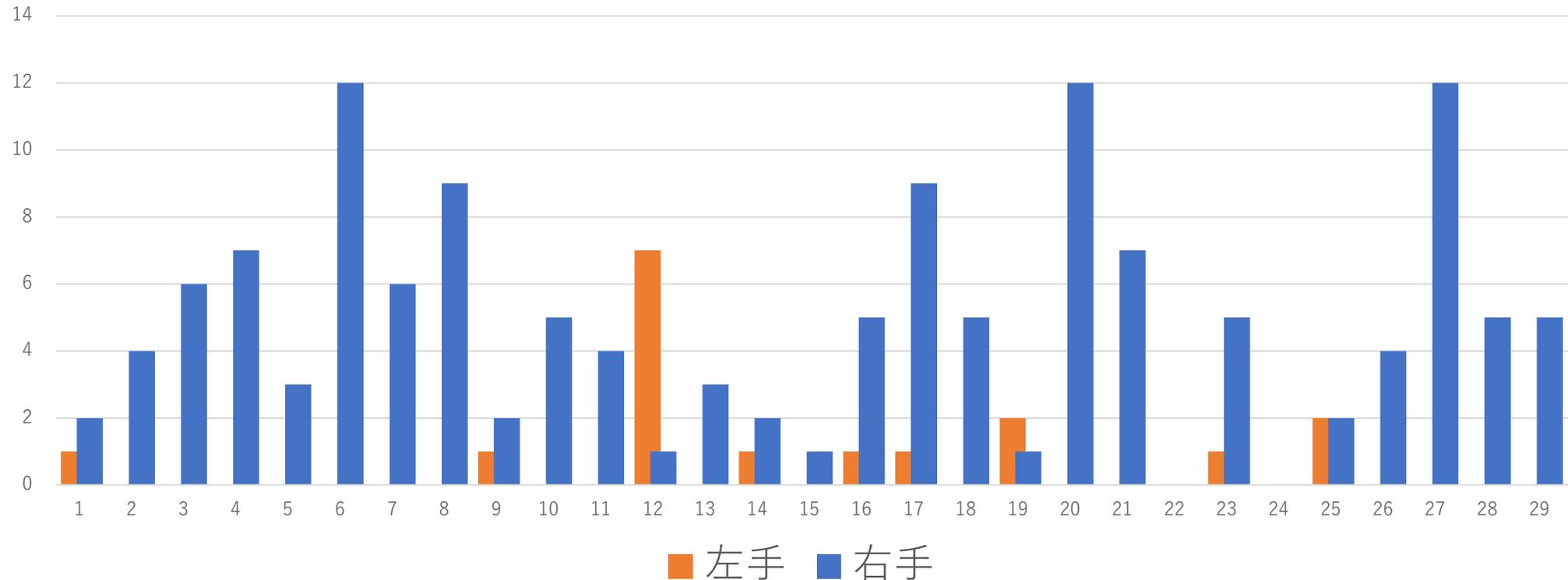
? ふかふかに「これこれ!」?

夏休みを利用して、ビデオを振り返ってみました

お尻や足裏も大切にしたいけれど数えにくいので 数えられる手の動きを、数えてみました

- 手が床面に伸びてから、床から離れるまでを1としました

右手と左手が床面に伸びた回数（5月－7月）





前半は左手ぼんやり？

6/1

当日に動画再生
させていただきます

触れていても
下におろした手が触れている？
という感じ（前半の触れ方）

6/9

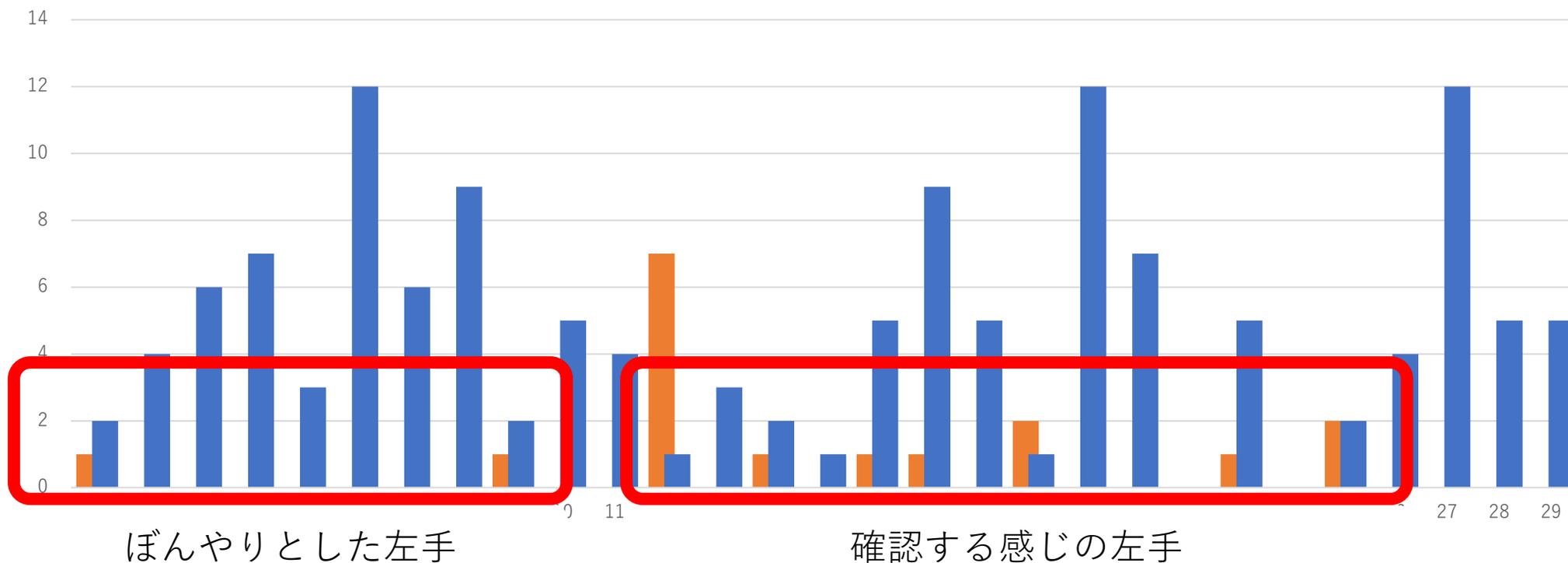
当日に動画再生
させていただきます

この日以降、数は多くはありませんが
左手が床に伸びる様子が
確認できています

お尻や足裏も大切にしたいけれど数えにくいので 数えられる手の動きを、数えてみました

- 手が床面に伸びてから、床から離れるまでを1としました

右手と左手が床面に伸びた回数（5月－7月）





時々出てくる確認の左手

6/11

当日に動画再生
させていただきます

ロッカーの形を確認しているの？

6/17

当日に動画再生
させていただきます

フローリングを確認しているの？

寝転がって足裏で遊ぶのもアリ？



6/10

当日に動画再生
させていただきます

重力から解放された足裏でロッカー
(3回見られました)

7/1

当日に動画再生
させていただきます

足裏でiPad触る
(3回見られました)

左手、お尻、足裏、寝転ぶが 何に対して出ているか、見てみました



	左手	おしり	足裏	寝転ぶ
5月13日	ふかふか			
5月14日				
5月19日	タオル			
5月20日				
5月24日		タオル	段差	マット
5月26日				
5月27日			段差	
5月28日			段差	
6月1日	ふかふか		段差	ふかふか、タオル
6月2日		ふかふか	ふかふか、マット	
6月7日				
6月9日	ふかふか、タオル			タオル
6月10日	マット			マット
6月11日	ふかふか、タオル、ロッカー			
6月14日		すべりどめ、ふかふか	すべりどめ、ふかふか	すべりどめ
6月15日			すべりどめ、ふかふか	
6月17日	ふかふか		段差	
6月18日	フローリング		段差	
6月22日	ふかふか		ひやひや	ふかふか
6月24日				ふかふか
6月25日			段差	マット
6月29日		ふかふか		ふかふか
6月30日	マット			
7月1日		ふかふか	iPad	ふかふか
7月2日				
7月5日	振動マット、マット			
7月6日				
7月12日				
7月13日				
7月14日		ふかふか		ふかふか

ふかふかに「これこれ！」？



6/22

当日に動画再生
させていただきます

6/29

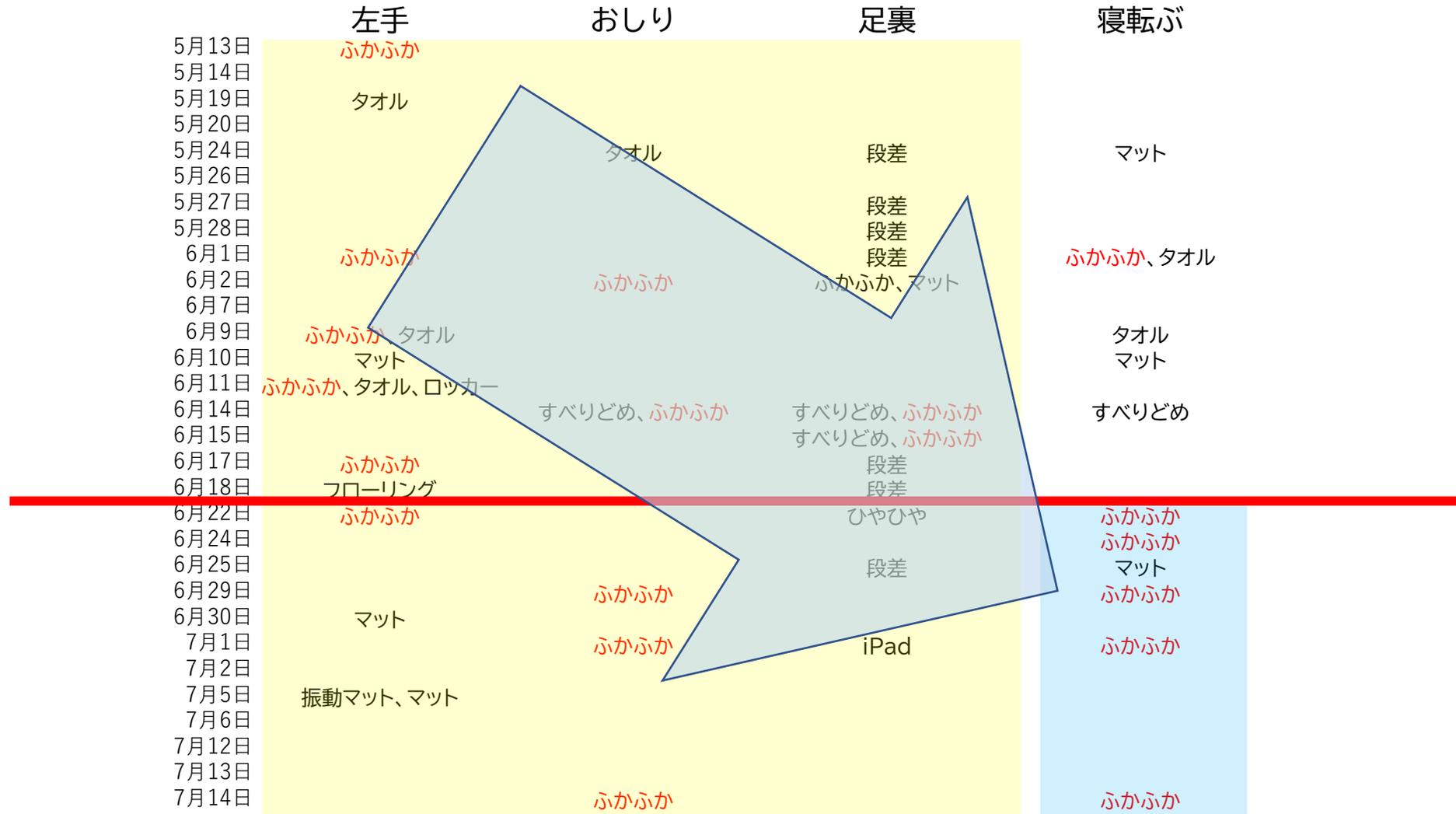
当日に動画再生
させていただきます

右手や左手で確認してから寝転ぶ？

お尻で確認してから？



確認する動き→寝転ぶの関係？



ビデオを振り返ってみて

? ぼんやりとしていた左手に変化?

体の左側を確認するのに便利。環境を工夫しよう。

? 足裏で遊ぶというのもアリ?

足裏遊びを想定した環境も考えよう。

? ふかふかに「これこれ!」?

そうだと思いたいが慎重にこれからも見ていこう。

実践の仮説から大きくは外れていないのではないか?

→環境を工夫すれば、「これこれ!」「これは今は違う!」
が引き出せるかもしれないという仮説で進むのでよい…のかな?

同じクラスの先生たちと共有しました → 確かめてみたいこと

手の出方に波があるのは、体調のリズム？

お尻、足裏との関係って何かある？

新しい素材と出会ったら、右手の出方は少なくなる気がする？

他の身体部位で探索している？

→ 新しい素材と出会う様子をもう少し知りたい

寝っ転がるのはいつも左側に向かって？時間が立つと寝転がる？

→ はっきりと出てくる？それとも変わってくる？

寒くなったら暖かいコーナーで「これこれ！」が生じないかな？

実践の振り返り（ねらいについて）

観察から始めた。そのねらいは、

周囲をどう感じていて、どう周囲と付き合っているかを知りたい。
彼のことをもっと知りたい、ということ。

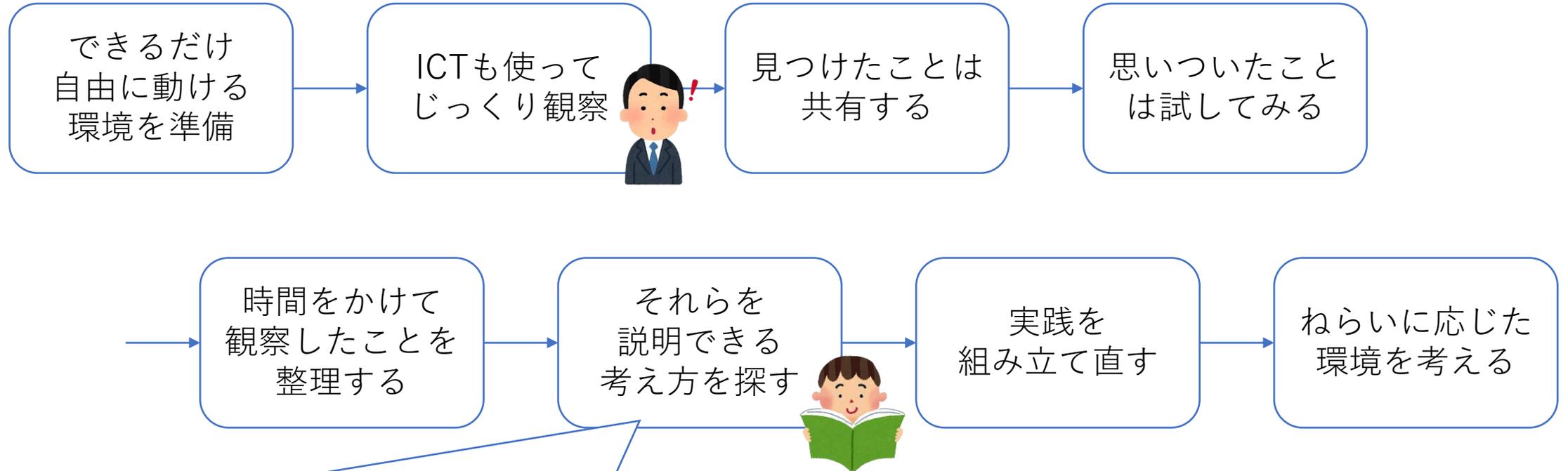
今は、

自分なりの方法で、

自分の身体の周りのものを探索する意欲をもって生活してほしい。

探索してよかったと思う経験を重ねてほしい、というねらいに変わってきた。

実践の振り返り（実践の枠組みについて）



実践前とは異なる捉え方で、Mくんを理解しようとしている
今後が変わってくるかも

実践の振り返り

その時その時で、提示したものに対してどのような反応をするのか？

→その時の、刺激と反応のコミュニケーション

その反応に対して、私がどう次の行動を決めるのか？

→子どもの反応と教師の反応のコミュニケーション

時間をかけて環境やこちらの捉え方を変えながら進めていくやりとりも

大切なコミュニケーションだと思いたい